

宮地小だより

9月
文責
八代市立宮地小学校
校長 嶋村 立馬

「み」みんななかよく 「や」 やいとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

芸術鑑賞会に向けて!!

9月も後半になろうかといのに、一向に秋らしい涼しさが感じられず、熱中症の心配が絶えない日々が続いています。そんな中、子どもたちは先生方の指導のもと、運動会練習を進めています。運動場や体育館から聞こえる子どもたちのかけ声、とてもいいですね。学校がより生き生きしているように感じます。運動会まであと少し、がんばってほしいと思います。

昨日、15日（水）には、10月に行われる芸術鑑賞会に向けて、ワークショップが行われ、6年生が参加しました。

今年度の芸術鑑賞会は、オペレッタ劇団ともしびによる演劇「トラの恩がえし」が予定されています。この2年間、感染症拡大防止のため、実施できていなかったため、とても楽しみです。この公演に向けて、当日の劇の一部に参加する6年生のワークショップがこの日行われました。トラと木こりの友情を劇にした朝鮮のお話で、朝鮮の民族楽器の生演奏が劇のオープニングを盛り上げていました。そして、6年生の子どもたちはオープニングの歌を、民族楽器の演奏にあわせて歌います。初めて見る楽器に興味津々の子どもたち、練習を終えたあとも、歌を自然と口ずさんでいました。

公演は10月19日に行われ、その日は1年生から6年生までの全児童で鑑賞します。きっと珍しい楽器に合わせて繰り広げられるわくわくの劇をみんな楽しく見てくれることと思います。オープニングで参加する6年生には、この貴重な体験を精一杯、楽しんでほしいですね。



全国学力・学習状況調査の結果より

4月19日に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、その結果が公表されました。

教科の調査結果では、本校6年生は、国語科、算数科、理科ともに全国の平均正答率を下回っていて、課題が見られました。国語科では、立場や意図を明確にしながら考えをまとめることや人物や物語の全体像を想像すること、算数科では、百分率を割合で表すことや図形の構成について考察すること、理科では、実験や観察の結果から自分の考えを持つことや結果をもとに見通しを持って考えることに課題が見られました。ただ、それぞれの教科で、課題とともに子どもたちの力がついている点も見られました。児童質問紙アンケートからは、6年生の子どもたちが、将来への夢を持ち、自分と違う考えに触れることが楽しいと思っている反面、自己有用感が低く、家庭学習の習慣が身についていないことなどが分かりました。この結果を参考に、子どもたちが主体的に取り組み、分かったと思える授業づくりに取り組んでいきます。皆様、これからもご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

※明日、17日（土）がPTA愛校作業になります。時間は6時30分からです。朝早くからの作業になりますが、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。